

木耐博士N ver3.0.0のご案内(ver2.0.1からの変更点)

変更点

- ・建築防災協会の認定更新に伴うマイナーチェンジを行いました
- ・2020年8月18日よりver3.0.0が建築防災協会の認定プログラムとなります
認定番号「P評価13-改1-W」→「P評価13-改2-W」

- ・計算ロジックに変更はなく、評点は変わりません
- ・バージョンアップ費用は無料です
- ・ver3にアップデートしても、ver2のデータはそのまま残ります



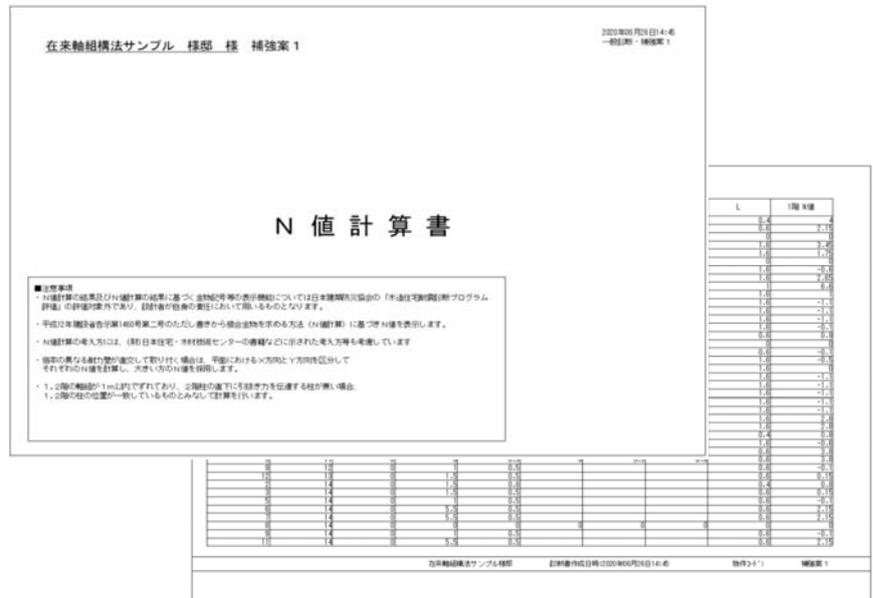
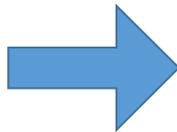
緑の屋根から黄色のアイコンに変

以下の名称やデータの保存フォルダが変更となりました

- ・博士のアイコンが緑から黄色になりました
- ・ロックコード → パソコンID
- ・AIM5 → AIM7

1.N値計算書の印刷機能追加

出力項目に「N値計算書」を追加



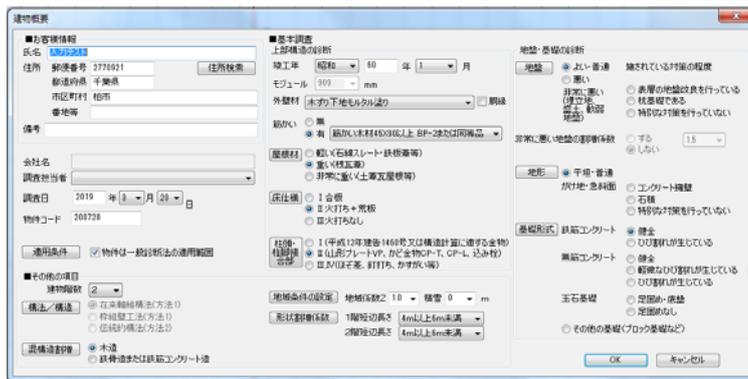
N値計算書出力イメージ
※N値計算は評価対象外のため、評価番号は印字されません

2.建物概要のレイアウト変更

建物概要の入力・設定画面を横長のレイアウトに変更し、見やすくなりました
また、ホームページに公開している現地調査票と同じレイアウトとなっています



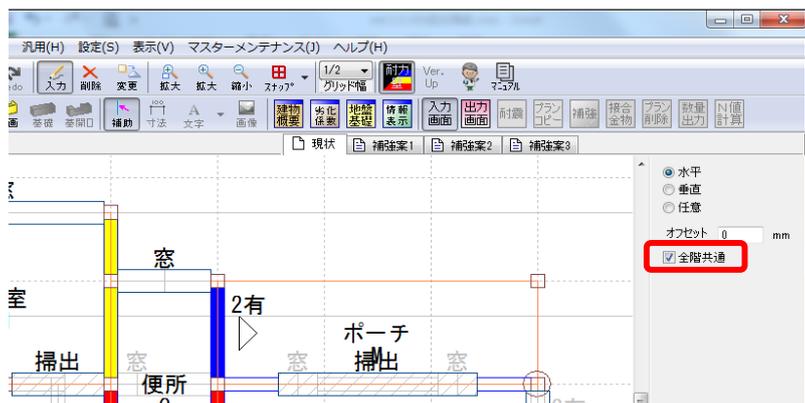
ver2.0.1での建物概要画面



ver3.0.0での建物概要画面

3.平面図入力時における補助線の全階入力機能追加

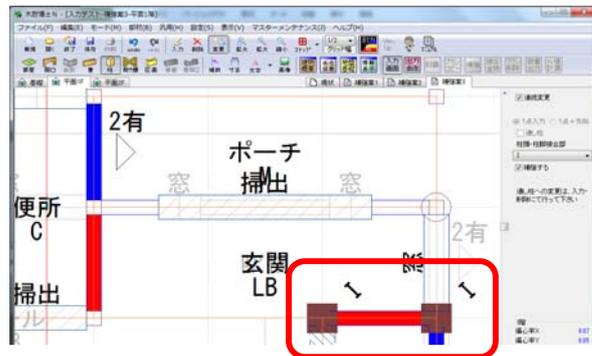
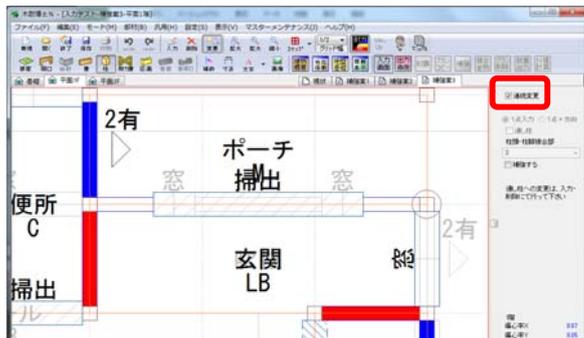
全ての階の同じ位置に、補助線を入力できるようになりました



「全階共通」チェック時に入力された補助線は全ての階に表示

4.柱接合部の連続変更機能追加

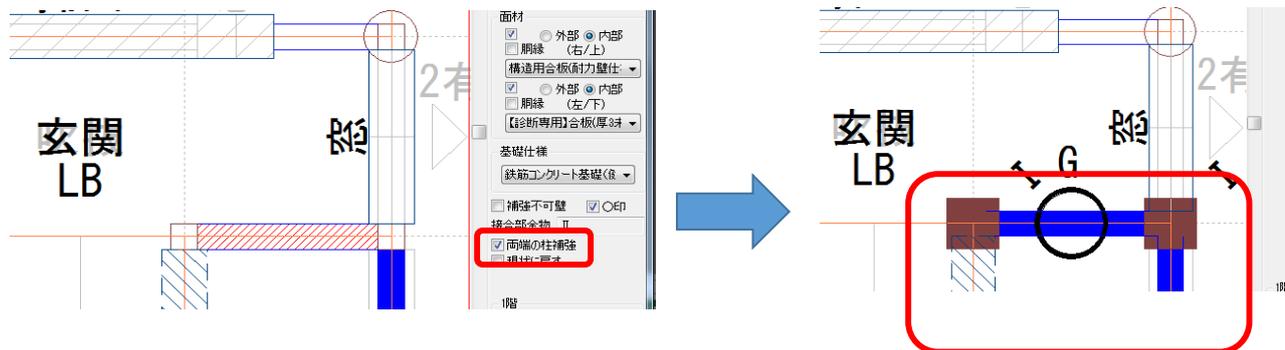
柱頭柱脚の接合部を変更する際に続けて変更できる「連続変更」のチェックを追加



柱をクリックすると、連続して接合部の変更が可能です

5.補強の耐力壁変更時における両端柱の接合部補強機能の追加

補強案で耐力壁の補強をするときに、両端の柱頭・柱脚接合部の補強を同時に補強できる「両端の柱補強」チェックを追加

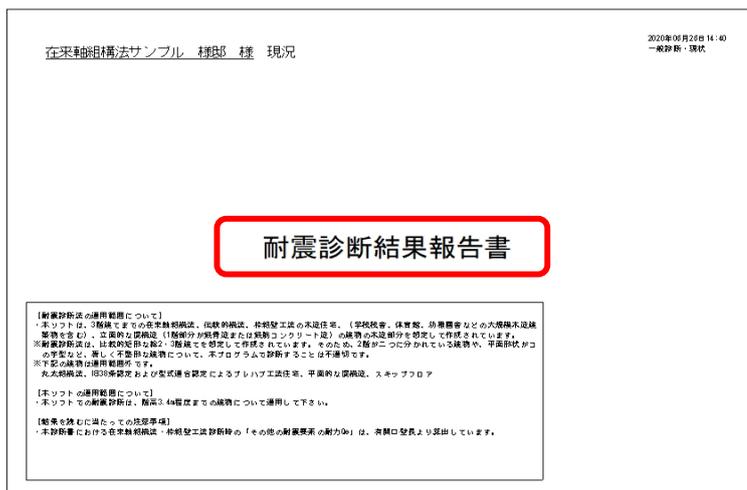
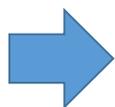
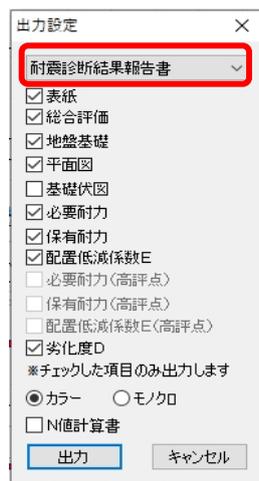


耐力壁の補強材質を選択する際に
「両端の柱補強」へチェック

壁の補強と同時に
両端柱の接合部を補強

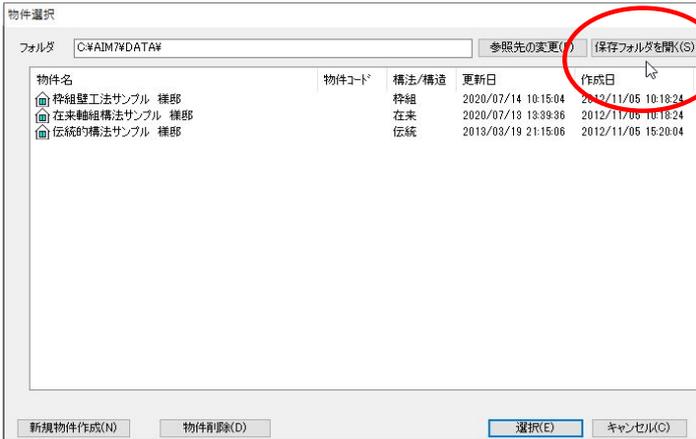
6.印刷時における表紙タイトル変更機能追加

表紙のタイトルを3種類から選べるようになりました



現状 ①耐震診断書 / ②耐震診断結果報告書 / ③「一般診断法」による診断表
補強案 ①補強提案書 / ②耐震改修提案書 / ③補強計算書

7. 物件選択の画面から「保存先フォルダ」を開く機能を追加



「保存フォルダを開く(S)」をクリックすると、物件データが保存されているフォルダが表示されます

8. 新規物件作成時に、地盤・地形・基礎の注意事項を順番に画面を切り替え表示

新規物件作成時の「地盤」・「地形」・「基礎」ごとの注意事項入力が順番に表示されるようになりました

